

学校目標・経営方針	<ul style="list-style-type: none"> 「進取」の精神のもと、高い志を持ち、自ら思考し、自ら実践する生徒の育成 他者を尊重する心を大切にしながら、これからの社会で輝ける生徒の育成 		
本年度の重点目標	確かな学力の定着を図るとともに、主体的に社会を生き抜いていく力の育成 (すべての生徒が伸びる授業づくり)	A	ほぼ達成できた。(8割以上)
	多様性を認め合い、協働しながら学び活動し続ける生徒の育成 (お互いを認め合う仲間づくり)	B	概ね達成できた。(6割以上)
	地域・社会とのつながりを通じて、社会に貢献できる生徒の育成 (社会で輝ける人づくり)	C	不十分である。(4割以上)
		D	達成できなかった。(4割以下)

評価	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自己評価			年度末評価(令和3年2月3日現在)		
番号	評価項目	本年度の重点目標 具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	
				達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	確かな学力の定着を図るとともに、主体的に社会を生き抜いていく力の育成 (すべての生徒が伸びる授業づくり)	実態に即した授業改善や、アクティブラーニングやICT活用の視点からの授業改善に取り組み、生徒の基礎学力を定着させる 新学習指導要領完全実施に向け、各教科で評価方法の工夫に取り組み、生徒の自己肯定感を醸成させる 「やまなしスタンダード」7つの視点の実践に向け、相互授業参観を通して教科を超えて学び合い、魅力ある授業づくりに取り組む	<ul style="list-style-type: none"> 授業アンケート 観点別評価 通知表への表記方法 相互授業参観の状況 授業アンケート 	B	○入学式・開校式中も中止になる新型コロナウイルスのための臨時休校期間中、分散登校による対応や、ほとんどの教員が初めて使うMicrosoft Teamsによる遠隔授業および情報発信に積極的に取り組み、生徒とのつながりを創り出した。 ○平常授業開始後は、コロナ感染に最大の注意を払いながら、普通科、工業科、商業科それぞれの実態に即した事業実践に取り組んだ。特にICT活用の視点からの授業改善には多くの教員が取り組み、教員対象学校評価アンケートでも中間と比較して年度末では大幅に向上している。 ○年2回実施した相互授業参観期間では、別教科の教員3人ずつでグループをつくり、その3人でお互いの授業参観を実施、教科を超えた学び合いができた。また、市川高校の同教科の授業参観も実施して学校を超えた学び合いもできた。
2	多様性を認め合い、協働しながら学び活動し続ける生徒の育成 (お互いを認め合う仲間づくり)	各授業において、主体的・対話的で深い学びを推進し、他者と協働して問題解決に取り組む場面を設ける 学校行事・部活動・生徒会活動などを通して、多様な立場の人たちと関わり合い、良好な人間関係を形成できる場面を設ける 教員間の連携や保護者との連携を通して、生徒の良好な規範意識を育成する	<ul style="list-style-type: none"> 授業アンケート 学校行事の計画実施 部活動の活性化 教員間の情報共有 保護者への情報発信 	B	○新型コロナウイルス感染防止のため積極的なアクティブラーニングができない中、各授業では短時間で行うなど工夫しながら実践していた。 ○年度当初の臨時休校とその後の新型コロナウイルス感染防止のため、計画していた学校行事がいくつも中止となり、多様な立場の人たちとかわりあう場面が予定通り確保できなかった。部活動では93%の生徒が自主的に加入し、市川高や他校との合同部活動に取り組んでいた。生徒会組織にも会長をはじめ20名を超える生徒が希望し、生徒間の試行錯誤しながら前進していく第1期生としての気風が感じられた。 ○教員間はMicrosoft Teamsを用いた情報共有と意見交換で連携し、保護者とはClassiを用いた情報発信やアンケート調査で連携を通して、生徒の規範意識への醸成をはかった。
3	地域・社会とのつながりを通じて、社会に貢献できる生徒の育成 (社会で輝ける人づくり)	「峡南地域学」「総合的な探究の時間」「LHR」等を活用し、外部機関と連携しながら、青洲学を通して地域を知り、将来の地域貢献への基盤をつくる 挨拶の励行や生活習慣の指導を通じて、将来の社会生活における良好な人間関係づくりの基盤をつくる 生徒や保護者・地域への情報提供を充実させ、生徒の進路意識の向上と、保護者・地域の学校への理解を図る	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な実施 外部との連携 地域社会への関心度 校内での挨拶の状況 服装、頭髪、運動状況等の様子 各種便りの充実 HP等の充実 	B	○「青洲学」は3年間のつながりを意識した探究が必要である。2年目は、峡南地域から範囲を広げていくこと、SDGsに絡めた探究活動を計画し実施していきたい。 ○挨拶や態度・マナー、規範意識の醸成は、日々の絶え間ない指導が必要である。1期生で培ったノウハウを2期生にも引き継いでいき、良好な人間関係づくりの基盤づくりと青洲スタイルの確立をはかっていきたい。 ○今年度と同様に、学校通信の定期的な発行及びホームページの更新により、情報提供を充実させていきたい。また、各分掌からの生徒、授業、部活動、施設、自然等を写真や動画を交えて発信し、学校の様子を紹介した。

学校関係者評価	
実施日(令和3年2月19日)	
評価	意見・要望等
4	○コロナ禍というかつてない状況でしがICTを積極的に活用しながら生徒に対して細やかな学習指導が行き届いていることが実感でした。 ○重点目標の具体的方策については、自己評価相応の判断であるとし、反面、年度当初には予期しなかったコロナ禍に対して、遠隔授業やICT活用という工夫を前向きにチャレンジしておられたことについてはプラス評価であった。まさしく「主体的に社会を生き抜いていく力」の実践である。 ○主体的な学習態度を身につける方針が生かされることはとても大切なことと思います。学校全体で取り組んでおられる成果を期待します。その目的のために生徒も先生方も主体的に活動できるよう皆で力をあわせて実行されることを願っています。まだ1年生ですから少しずつ自分の考えを発揮するよう見守ってください。 ○授業アンケートの中で中間から年度末でポイントが下がっている項目がありましたので、その部分は何かはかしていかないといいと思います。すべての生徒が伸びる授業づくりではなくすべての生徒が伸びる機会を与えられる授業だと思えます。結果について求めて、結果は生徒にまかせる事で主体性を育てる一助になるのではないのでしょうか。 ○生徒の前進きな姿が見られる。勉強の面白さがわかるとして生徒は主体的になると思う。それを可能にする授業方法を期待する。
4	○いじめの早期発見に努めていることを実感しました。これからも生徒のSOSに気づく感性を高める必要があると思います。加入率が90%以上ある部活動ですが、実績を出すことも大切かと思いますが、それ以外の部分での生徒の成長の種となる活動を意識しながら活動になればと思います ○コロナ禍で不自由な環境の中において実施できなかった学校行事も多かったわけだが、部活動への93%の加入や、他校との合同部活動など、今でなければできないことへの対応がなされており、第1期生としての「協働」や「学ぶ姿勢」について十分に成果を挙げたのではないかと。 ○3校統合の結果生まれた学校故に社会の側からの見つめる(見つめられる)眼差しは結構期待も多いが感点です。各教科の融合をはかりながら科の独立はもちろんです。他の学校の目標となるよう力をあわせて育つ学園になることを願っています。 ○難度が高くなると追いつけない生徒も出てくる。「不得意=諦め」にならないよう生徒の個別チェックとフォローが大切かと思ます。 ○多様性について学ぶ機会や知る機会、考える機会を設ける事も必要かと思ます。生徒たちによるワークショップ等もあっていいと思います。
3	○中学1年生の校外学習コースに今年初めて組み入れられていただき、丁寧な説明や素晴らしい施設見学で生徒たちにはとても好評でした。高校への進学という意識付けという進路学習的な意味合いからも大変有効な活動になりました。 ○企業や社会で最も重要とされるのが「協調性」である。学校訪問時には生徒からの挨拶が励行されており、その成果が垣間見られた。特に「商業」「工業」においては地域への優秀な人材の供給という意味もあり、産業界は大きな期待をもってお待ちしております。世界に羽ばたいてもらいたいという気持ちもあります。まず地域に貢献できる人材育成という目的の完遂をよろしく願っています。 ○青洲高校の成り立ちは、多様性の価値を高めることにあると思ます。峡南地域の文化を掘り起こして、地域にも他の社会にも貢献できる人間を育てることが大切かと思ます。先生方と保護者の協力のもと生徒を大切に育て上げてください。 ○学校通信や学校ホームページにより、地域のみなさまへの広報を充実させていると感じる。学校の教育設備の紹介や、生徒の進路状況等も積極的に発信してほしい。 ○コロナ禍ということもあり、様々な機会が失われています。今後どうなるかわかりませんが、状況に応じた対応をお願いします。

※添削点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。